

平成23年度事業報告

はじめに

昨年発生した東日本大震災は、原発事故をも誘発し、その傷跡は、今もまだ癒えることなく懸命の復興が続けられております。平成23年度は、社会事象のあらゆる面においても変革の波が押し寄せると共に混乱し、特に、日本の将来像を示すべきはずの政界における迷走は、目に余るものがあり、年金、福祉、税制更には電力供給といった国民生活に直接かかわることすらその道筋を示せないまま推移いたしております。

変革の波は、スポーツ界にも押し寄せ、50年ぶりに「スポーツ振興法」がみなおされ、全面改正されることとなり、平成23年8月24日には「スポーツ基本法」として施行されています。ここでは、「スポーツを通じて、幸福で豊かな生活を営むことは国民の権利である。」と明言され、今後その推進のため、国をあげて環境整備に努めると共に推進のための事業支援更には奨励策を講じていくことが明らかにされました。我々剣道人としては、むしろこの機運に乗じ、生涯剣道確立に向け一層の努力を傾注すべき時であるともいえます。

法人制度も大きな変化があり、大阪府剣道連盟は、いち早く公益社団法人の道を選択し、その整備に努めてまいりました。その結果、平成23年10月26日には、幾多の難問を解決し、大阪府からの認定内示を受け、平成24年4月17日無事登記を済ませ、公益社団法人大阪府剣道連盟として歩み始めました。

平成23年度における大きな変化は、団体会員制から個人会員制に切り替えたことです。このため、会員の皆様には会費の納入というご負担をおかけすることになったにもかかわらず、多くの剣友のご賛同をいただき、会費納入も順調に滑り出しております。今後も財政基盤の確立に向け倍旧のご協力をお願いするものです。会員の意思を集約するための代議員選出のための選挙も軌道に乗り、260名の代議員が選出され、既に23年5月、24年1月と新しく選出された代議員による総会を2回開催することができました。

以下、平成23年度事業計画に基づき実施した事業経過を報告致します。

1. 個人会員および登録団体の入退会状況

個人会員数は、高校生相当年齢 2,371 名、大学生相当年齢 1,195 名、一般 11,151 名であった。なお、中学生以下の登録者は、3,641 名であり、その合計は 18,358 名であった。

本年度の入会登録団体は 14 団体あり、退会登録団体は 3 団体で、本年度末の登録団体数は 537 団体と 11 団体増加した。

2. 定款第4条（2） 「講習会の開催及び指導者の育成」

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図る為、当連盟が主催する講習会を、審判法3回、日本剣道形4回、指導法3回（4回実施の予定であったが、台風により1回中止した）、又、女子剣道普及のための講習会を3回、合計で13回開催した。

剣道では、地区・職域における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進し、審判 11

回、日本剣道形7回、指導法6回、合計で24回開催し、中体連、高体連、学生連盟、官公署は5回開催した。

これらの講習会に、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年2回の受講を義務づけている。居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など9回講習会を行い、杖道では、7回の主要講習会に加えて10回の月例研修会を開催した。

3. 定款第4条(3) 「各種大会の開催」

本連盟主催分・・・ 6月12日(日)第48回大阪杖道大会
6月26日(日)第44回大阪府少年剣道大会
7月10日(日)第58回大阪府剣道優勝大会
8月20日(土)第41回居合道段別大会
9月18日(日)第6回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
11月3日(祝)第8回大阪府女子剣道優勝大会
11月13日(日)第34回関西杖道優勝大会
12月4日(日)第53回大阪居合道大会

恒例となった全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会も、第6回目を迎え、全都道府県からの参加を得て(小学生46チーム、中学生47チーム(但し大阪府チームは各2チーム出場))、無事に終えることができた。本大会は、文部科学省・総務省主唱による剣道普及発展と地域の再生を促進するため、(財)地域活性化センターからの助成を得て、大阪市とともに開催している大会である。

本連盟主管分・・・ 4月29日(祝)第59回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
5月23日(日)大阪市長杯第55回市民剣道大会
10月16日(日)第38回全日本杖道大会

4. 定款第4条(4) 「府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣」

次のとおり派遣した。

4月2日(土)～3日(日)	第46回剣道西日本中央講習会	神戸市 吉田、松原、山口
4月17日(日)	第9回全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市 石塚、小坂、船津
5月2日(月)～5日(祝)	第107回全日本剣道演武大会	京都市 参加者373名
5月18日(水)～22日(日)	第49回剣道中堅剣士講習会	奈良市 大石、平田、北野
7月16日(土)～17日(日)	第11回近畿剣道連盟夏季講習	奈良市 石田健、花澤、上田、新村、米崎、柴田
7月16日(土)	第3回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都 岩堀、北山、吉永、山本、鳥濱、西田
8月21日(日)	第66回国体近畿ブロック大会	赤穂市 少年男・女、成年女子 13名

9月18日(日)	第57回全日本東西対抗剣道大会	山形県上市市 山本真、石田真、木和田、平田、石田洋、神崎
9月18日(日)	第6回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市 小学生チーム 2チーム 中学生チーム 2チーム 計4チーム
9月25日(日)	第50回全日本女子剣道選手権大会	姫路市 大辻、山本、道下
10月 2日(日)～ 4日(火)	第66回国民体育大会	山口県下関市 成年男子 1チーム
10月15日(土)～17日(月)	第24回全国健康福祉祭くまもと大会	菊池市 大阪市チーム：山本、泉田、江良、大泉、櫻田、徳澄 大阪府チーム：長澤、安部、小川、宮本、右田、炭谷 堺市チーム：藤澤、奥村、藤田、関、小池、加藤
11月 3日(祝)	第59回全日本剣道選手権大会	東京都 大城戸、古川、大石

5. 定款第4条(5) 「称号および段級位の審査ならびに段級位の授与」

段位審査会は、剣道6回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は5,645名で、前年より1.2%の減少であった。居合道・杖道は共に増加の傾向にある。

6. 定款第4条(6) 「功労者の表彰」

①個人会員管理システム導入による功績		大谷 忠敬
②平成23年度 全剣連 剣道有功賞		澤野 彰男 西山 一三 梶木 昭三
③八段昇段	剣道	米崎 和広 松岡 俊雄
④平成23年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞		
三島地区	高槻正剣館	
大阪北地区	大阪拘置所 横堤剣心会	西淀川剣友会
大阪南地区	南港剣友会	東中本剣友会
北河内地区	守口少年剣道推進会	
中河内地区	羽曳野剣道錬成会	
南河内地区	観心館	
堺地区	泉北原山錬成会同好会	若松剣友会
泉州地区	心和会剣道部	興武館

⑤財団法人大阪体育協会推薦大阪府知事感謝状受賞			鏡山 博行
⑥平成23年度 大阪知事表彰・大阪スポーツ賞（体育功労賞）			高橋 敬明
⑦財団法人大阪体育協会創立65周年記念体育功労者賞			小林 三留
⑧平成23年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞			
	金 賞		川崎 武雄
	銀 賞		森山 昭男
	〃		奥田 勲二
	〃		本間 立子
	団体賞		浪速剣道同好会
⑨第6回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	小学生の部	優勝	大阪府Aチーム
	中学生の部	優勝	大阪府Aチーム
⑩第38回全日本杖道大会	参段の部	優秀賞	老松 克博 老松美由紀

7. 定款第4条（7） 「その他前条の目的を達成するために必要な事業」

①普及活動の推進

新公益法人移行に向け、個人会員状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区委員会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進している。

◇地区および職域講習会の開催

各地区・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して、29回開催された。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された38回の剣道大会に後援、援助を行った。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生対象に、ほぼ例年どおり58回の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区に対しては地区活動費として、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては、補助金を各年度予算に計上し、継続して支出し、援助を行った。

◇報道促進

ホームページの充実について検討し、迅速な情報提供を目指した。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、積極的に資料・写真等を提供している。

②安全対策

安全講習会

剣道を行うにあたって、安全対策が最重要課題である。最近AEDが多くの場所に設置されているが、その正しい使用方法、また、緊急時の処置など救急救命の研修が重要であると考え、各地区・職域に実施を要請した。

また、6月に「剣道競技中の怪我と予防」というテーマのもとに研修会を、専門家を招聘して開催し、多くの受講生が参加し、大きな反響を得た。

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、大剣連主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。その加入数は173団体3,568名と横ばい傾向にある。なお一層の加入者数の増加に努めたい。

傷害発生の傾向

事故・傷害の保険適用件数は56件で、昨年度に比べやや減少した。安全第一・事故防止に努力せねばならない。重大事故・重大傷害の発生は報告されていないが、四肢の捻挫や骨折が多い。また、転倒・稽古者同士の接触による事故・傷害が数多く報告されており、稽古の方法について一考の必要があるのではないかと思われる。また、級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

8. 事業活動組織

事業活動は、新たに委員会を設けるなどして、活発な活動を行なった。常設委員会として、総務、綱紀・顕彰、経理、未来構想、安全、IT、普及、審査員選考、審判員選考、審査、審判、強化、少年、事業、居合道、杖道の17専門委員会を設置し、また、諮問委員会として、公益法人移行準備委員会、個人会員制移行システム化委員会の2専門委員会を設置して、運営を行った。法規整備委員会を総務委員会と統合し、総務委員会の中に新たに個人情報保護委員会を設置して個人情報保護方針についてその詳細をまとめた。強化委員会の中には一般男子、女子部、高体連、中体連のグループを設置し、それぞれの領域で活動を行った。特に、昨年4月から個人会員制を実施したことに伴い、IT委員会中心に事務全般にわたるシステム化を推進した。

9. 今後の課題

◇中学校における武道必修化

平成24年度より、中学校における武道必修化が実施されており、今後とも普及委員（地区担当理事）を中心に剣道が採用されるよう教育委員会及び各中学校に継続的に積極的な働きかけを行う。

◇安全講習会

「スポーツ事故の予防と対策、その責任の所在」についての研修会を今後も継続して開催する必要があると考える。

◇講習会の充実

真に実りある講習会となるよう、各種講習会の内容を精査すると共に、到達目標に併せ受講生を絞るなど方策を検討する。

◇暑中稽古の充実

剣道の普及・発展を図るため、暑中稽古の意義を浸透させ、各層の剣士を糾合したオール大坂的暑中稽古となるよう努める。

以上

平成23年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

講習会名称		実施回数	指導者数	参加者数
連盟主催	審判講習会	3回	6名	101名
	日本剣道形講習会	4回	9名	170名
	指導法講習会	3回	27名	136名
	女子稽古会・講習会	3回	22名	69名
	計	13回	64名	476名
地区職域	審判講習会	14回	26名	627名
	日本剣道形講習会	9回	14名	524名
	指導法講習会	6回	20名	318名
	計	29回	60名	1,469名
合計		42回	124名	1,945名

8月 7日(日) 全日本剣道連盟後援講習会 剣道指導法 於大阪市中央体育館
全剣連派遣講師：田口 榮治範士 参加：67名

6月 5日(日) 剣道競技中の怪我と予防 於大阪市中央体育館
講師：正富 隆(行岡病院副院長 整形外科医) 参加：172名

(2) 各種大会の開催

5月15日(日) 大阪市長杯第55回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
優勝 男子の部 フットワークエクスプレス(株)本社 於修道館
女子の部 医療法人錦秀会 参加：61チーム
331名

6月26日(日) 第44回大阪府少年剣道大会 於舞洲アリーナ
優秀チーム 参加：217チーム
高学年：城東警察少年剣道推進会、小曾根剣友会、穴師剣道会 778名
低学年：浜寺威徳会、寺内剣友会、小曾根剣友会

7月10日(日) 第58回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
優勝 男子一般 パナソニック電工(株)門真 参加：214チーム
女子一般 大阪剣道協会 1,102名
高校男子 清風高等学校

9月18日(日) 第6回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市、大剣連主催)
於舞洲アリーナ
参加：小学生の部 46チーム
中学生の部 47チーム

小学生の部 優勝 Aチーム
中学生の部 優勝 Aチーム

11月 3日(祝) 第8回大阪府女子剣道優勝大会 於はびきのコロセアム
個人戦の部 優勝 一部：藤山 二部：首藤 三部：村上
参加：133名
団体戦の部 優勝 一部：大阪剣道協会 二部：春風会A
参加：45チーム
144名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行った。

(3) 各種予選会の開催

4月17日(日) 第3回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選 於修道館
代表：間吾、吉永、山本、鳥濱、西田 参加：38名

5月14日(土) 第50回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於修道館
代表：大辻、山本、道下 参加：24名

5月29日(日) 第66回国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於修道館
代表：(男子) 後藤、大石、寺本、新屋、花澤 参加：104名
(女子) 山本、阪口、河村

6月 4日(土) 第24回全国健康福祉祭くまもと大会・大阪府下選考会 於大阪市中央体育館
代表：大阪市チーム：山本、泉田、江良、大泉、櫻田、徳澄 参加：32名
大阪府チーム：長澤、安部、小川、宮本、右田、炭谷
堺市チーム：藤澤、奥村、藤田、関、小池、加藤

8月21日(日) 第59回全日本剣道選手権大会・大阪府予選 於修道館
代表：大城戸、古川、大石 参加：71名

平成24年2月26日(日) 第60回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選 於修道館
代表：森田、森永、勝見、川上、友井、西、戸高 参加：167名

(4) 審査会

6月 5日(日) 箕面第一体育館
7月31日(日) 大阪市中央体育館
10月10日(祝) 大阪市中央体育館
11月23日(祝) 泉佐野市民総合体育館
平成24年 1月15日(日) 大阪市中央体育館
3月20日(祝) 舞洲アリーナ

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比	
受審者数	2,849	1,360	677	407	352	5,645	△67	△1.2%
(うち女性)	938	452	163	106	54	1,713	+227	+15.2%
合格者数	2,023	834	343	137	104	3,441	△437	△11%
(うち女性)	642	284	86	25	15	1,052	+106	+11%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八 段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比	
受審者数	641	452	229	56	26	—	1,404	+43	+3.2%
合格者数	94	57	2	54	26	—	233	+44	+ 23%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

平成24年2月11日(祝)第16回大阪武道祭 演武 於大阪中央体育館

参加：第6回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会小学生チーム10名及び指導者3名

全剣連主催による次の講習会を主管した。

10月21日(金)～23日(日)

第49回社会体育指導員(初級更新)養成講習会

第36回社会体育指導員(中級)養成講習会

第27回社会体育指導員(中級更新)養成講習会

於舞洲アリーナ

参加：30名

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

	4月 3日(日) 第1回特別強化練習会	於修道館	参加101名
	7月23日(土) 夏季居合道講習会・全日本居合道大会選考会	於東淀川体育館	参加229名
	9月 3日(土) 第2回特別強化(台風の影響により中止)	於舞洲アリーナ	参加103名
	11月 6日(日) 全剣連伝達講習会	於大阪府中央体育館	参加166名
平成24年1月	7日(土) 新年合同稽古会	於大阪府中央体育館	参加 95名
	1月21日(土) 第3回特別強化練習会	於修道館	参加135名
	2月11日(祝) 高段者特別錬成会(英信流)	於修道館	参加 38名
	2月25日(土) 春季居合道講習会	於大阪府立体育会館	参加230名
	3月11日(日) 高段者特別錬成会(無外流)	於和泉市	参加 29名

(2) 各種大会の開催

	8月20日(土) 第41回居合道段別大会	於修道館	参加205名
	12月 4日(日) 第53回大阪居合道大会	於舞洲アリーナ	参加1,350名

(3) 予選会の開催

	11月 3日(祝) 第53回大阪居合道大会・大阪府予選会	於修道館	参加198名
--	------------------------------	------	--------

(4) 審査会

	8月 6日(日) 夏季居合道審査会	於修道館	
平成24年3月	4日(日) 春季居合道審査会	於修道館	

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	45	42	32	35	11	165	+36名
合格者数	42	35	23	15	3	118	+15名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	20	4	8	3	1	—	36	±0名
合格者数	2	2	0	3	1	—	8	±0名

(5) 全剣連関係、その他の事業報告

	5月 2日(水) 第107回全日本剣道演武大会	京都市	参加66名
	5月 3日(祝) 審査会	京都市	
	7月 8日(金) 審査会	福岡県	
	7月 9日(土)～10日(日) 全剣連地区講習会	福岡県	参加60名
	9月10日(土)～11日(日) 全剣連中央講習会	京都市	参加 3名
	10月22日(土) 第46回全日本居合道大会	愛媛県	参加22名
	11月19日(金) 審査会	東京都	
平成24年2月	11日(祝) 第16回大阪武道祭 演武	於大阪府中央体育館	
		参加：中野八郎 — 浅野邦雄	
		荒尾 進 — 光行良一	

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月10日(日) 春季講習会	於東淀川体育館	参加80名
6月5日(日) 審判講習会	於川西市総合体育館	参加49名
7月3日(日) 伝達講習会	於川西市総合体育館	参加53名
8月7日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加55名
9月18日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加50名
10月2日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加54名
10月29日(土) 秋季講習会	於東淀川体育館	参加89名
4月～3月 杖道月例研修会	於川西市総合体育館	10回開催

(2) 各種大会の開催

6月12日(日) 第48回大阪杖道大会	於川西市総合体育館	参加180名
7月10日(日) 第58回大阪府剣道優勝大会	於大阪市中央体育館	
演武 全日本剣道連盟杖道形	服部知司	— 古谷重勝
一心流鎖鎌術	鹿島 晃	— 坂上 亨
一角流十手術	石河和彦	— 橘高良和
内田流短杖術	中野伊織	— 近藤眞佐雄
11月13日(日) 第34回関西杖道優勝大会	於川西市総合体育館	参加152名

(3) 審査会

4月24日(日) 於修道館

11月20日(日) 於大阪府立体育会館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	23	33	13	17	5	91	+7名
合格者数	15	25	8	8	4	60	△2名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	0	6	1	1	2	—	10	±0名
合格者数	0	1	0	1	2	—	4	±0名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(4) 全剣連関係、その他の事業報告

5月2日(月) 第107回全日本剣道演武大会	京都市	参加18名
6月18日(土)～19日(日) 第20回全剣連杖道中央講習会	勝浦市	参加2名
8月19日(土)～20日(日) 全剣連杖道地区講習会	長野県長野市	参加16名
10月16日(日) 第38回全日本杖道大会(主管)	大阪市(舞洲)	参加538名 (大剣連参加者133名)
平成24年1月21日(土)～22日(日) 全剣連杖道地区講習会	東京都	参加16名
2月11日(祝) 第16回大阪武道祭 演武	於大阪市中央体育館	
参加: 石河和彦 — 古谷重勝 下谷光生 — 坂上 亨		

これらの他、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。